

# チェルノブイリの 30年

▶▶▶いま、改めて見つめる▶▶▶

日時 2016年5月28日(土)  
13:00 ~ 16:30

場所 聖心女子大学宮代ホール

写真:「埋葬された村々」の記念碑

- 司会 関啓子(一橋大学名誉教授)
- 13:00 ~ 13:10 開会の挨拶
- 13:10 ~ 13:50 沼野 恭子(東京外国語大学教授)  
「チェルノブイリからフクシマへ  
—アレクシエーヴィチの祈り」
- 13:50 ~ 14:30 境野 健児(福島大学名誉教授)  
「原発災害下における避難・帰還と学校・地域」
- 14:30 ~ 15:10 尾松 亮(「原発事故—国家はどう責任を負ったか」著者)  
「事故30年後の被災地縮小政策  
—それでも被災者の権利を守る法的基盤」
- 15:10 ~ 15:30 休息
- 15:30 ~ 16:00 討論 蓮見 雄(立正大学教授)
- 16:00 ~ 16:30 質疑応答

■参加費

一般(ユーラシア研究所会員でない方):1,000円/学生:500円  
ユーラシア研究所会員及び聖心女子大学教職員・学生:無料

■お申し込み

メールフォーム <http://www.yuken-jp.com/ask.html> に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

主催 ユーラシア研究所

## 聖心女子大学宮代ホール

<http://www.u-sacred-heart.ac.jp/access/>

- 東京メトロ日比谷線「広尾駅」  
(2番「天現寺橋(聖心女子大学)方面」出口)下車  
広尾商店街(散歩通り)を通り、約3分
- JR渋谷駅東口または恵比寿駅より都バス  
「日赤医療センター前」行 終点「日赤医療センター前」下車約3分
- JR品川駅より都バス「新宿駅西口」行  
「広尾橋」下車約4分
- JR日黒駅より都バス「千駄ヶ谷駅」、「新橋駅」行  
「広尾橋」下車約4分

